

建築・都市整備・道路委員会
平成 23 年 9 月 13 日
道 路 局

相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業における 事業計画の変更について

相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業については、平成 14 年 9 月に都市計画事業の認可を取得し、平成 24 年度の完成を目標に事業を進めておりましたが、このたび、鉄道事業者である相模鉄道㈱と事業計画の変更協議を行いました。

その結果、完成予定は、平成 30 年度まで 6 年間の延長、事業費は、379 億円から約 90 億円の増額になります。

1 事業期間延長の主な理由

- ① 鉄道運行及び駅利用者の安全対策や環境対策に伴う追加工事の実施
- ② 用地取得の遅延

2 事業費増額の主な理由

- ① 構造物の新耐震基準の適用や景観対策の実施
- ② 工事中のバリアフリー化や踏切等の安全対策の実施
- ③ 工事中の騒音・振動等に対する環境対策の実施
- ④ 用地補償費の精査

3 今後の対応

事業計画の変更内容に合わせて、都市計画法の事業認可の変更手続きを進めます。

<参 考>

事 業 概 要

【事業区間】：天王町駅付近から星川駅付近まで約 1.9km
(保土ヶ谷区西久保町から星川 3 丁目まで)

【踏切除却数】：9 箇所

【事業期間】：平成 14 年度 ～ 平成 24 年度 → 平成 30 年度 (6 年間延長)

【事業費】：379 億円 → 約 90 億円増額

星川駅部の鉄骨架設状況

<参考> 工事状況 (平成 23 年 8 月)



写真-① 星川駅鉄骨架設状況 (全体) (南側から北側を望む)

本設高架橋の柱の施工状況 (水道道交差部)



写真-② 本設高架橋の柱の施工状況 (星川第2架道施工状況において海老名方から横浜方を望む)

本設高架橋の柱の施工状況 (一般部)



写真-③ 星川第2架道橋製作状況 (天王町2号~3号踏切間において横浜方から海老名方を望む)

